

ほうきてごネットだより



溝口小学校は、新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの支援活動を延期しています。一日も早く収束の目処が立ち、皆様にご支援いただける日が来ることを心待ちにしています。

このような状況ですが、時期を逃さない野菜の苗植えなど4つの活動を、3密を回避して、5月までに行いました。

4年生は、「総合的な学習の時間」で、ふるさと学習として大山について学習します。昨年までは、卵から育てた鮭の稚魚を日野川に放流し、日野川の学習をしてきました。今年はそれに加え、桧水高原のまつむし草の植栽に参加し、桧水高原の自然も学習します。

まつむし草は、以前は桧水高原に自生していましたが、近年ほとんど見られなくなりました。数年前から、地元の方、日野高校と米子白鳳高校の生徒たちが、まつむし草の植栽をしています。

秋の植栽に間に合うように、200個の種ポットの準備ができました。ふるさとが誇る日野川と大山に関わり、充実したふるさと学習につながると思います。これからも、皆様のご理解と支援をよろしくお願いいたします。



▲1・2年生サツマイモ苗の植え付け



▲まつむし草の種まき。休校中だったため、大人だけでやりました。

問い合わせ先 溝口小学校 TEL:0859-62-1011

地域包括支援センター

News

認知症に関するお悩みは「認知症地域支援推進員」へご相談を

認知症は、特別な病気ではなく、誰でも起こりうる脳の病気です。

高齢化とともに、今後さらに増加することが予想される認知症の人が安心して生活していくために、「認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができる社会」をつくるのが重要です。そのために、一人ひとりが認知症への関心を高め、正しく理解し、支え合うことがとても大切です。

伯耆町は、認知症ケアの体制強化をはかるため、「認知症地域支援推進員」を5月から配置しました。ご自身のこと、家族の気になること、心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

認知症地域支援推進員の役割

1. 認知症の人やその家族の相談支援
2. 町民に、認知症を身近な病気として理解してもらうための活動
3. 認知症の人やその家族が、状況に応じて必要な医療や介護などのサービスを受けるための、関係機関などへのつなぎや連絡調整



認知症地域支援推進員の濱田辰美です。
地域の皆さんの声を聴きながら、医療機関や介護事業所、地域の支援機関と認知症の人やその家族をつなぐための支援を行い、安心して暮らすためのお手伝いをします。

認知症に関することでお悩みの方や相談したい方は、一人で抱え込まず、ぜひご相談ください。

問い合わせ先 健康対策課 生活相談室 TEL:0859-68-5535